

Saffold cardiovirus の5例

Five cases of Saffold cardiovirus group 2 infection

山辺こどもクリニック:板垣 勉

山形県衛生研究所:池田辰也,青木洋子,
安孫子千恵子,水田克巳

山形大学医学部感染症学講座:松寄葉子

群馬県衛生環境研究所:塚越博之

国立感染症研究所ウイルス第三部:野田雅博

国立感染症研究所感染症情報センター 木村博一

症例1

2歳女児

9月4日 発熱

9月5日 初診 39.8度の発熱そのほかの症状はなし。

理学所見：滲出性扁桃炎

鼻咽腔吸引液：ウイルス分離→分離できず

シーケンス法でSAFV Group 2

9月6日 解熱。下痢なし。

有熱期間：2日 治療：解熱剤のみ

症例2

5歳男児

既往歴 アレルギー性鼻炎(+), 気管支喘息(+)

9月1日 弟が発熱

9月6日 38.7度の発熱, 鼻汁(+), 咳(-), 咽頭痛(-)

9月7日 初診 38.8度

理学所見: 滲出性扁桃炎

溶連菌迅速診断(-)

鼻咽腔吸引液: ウイルス分離→分離できず

シーケンス法でSAFV Group 2

9月8日 解熱

有熱期間: 2日 治療: 解熱剤のみ

症例3

2歳男児

既往歴 特になし、アレルギー性鼻炎(-)

10月4日 父親が急性扁桃炎の診断で抗菌薬の投与
(2日間で解熱)

10月8日 初診 39.8度, 鼻汁(+), 咳(-)
理学所見: 滲出性扁桃炎
アデノウイルス迅速診断テスト:(-)
咽頭拭い液採取→ウイルス分離できず
シーケンス法でSAFV Group 2
抗菌薬 点滴・経口投与

10月9日 38.4度 下痢(-)
CRPの強陽性化→ 紹介入院

10月10日 解熱
有熱期間:2日 治療:抗菌剤投与

症例3の臨床経過と検査結果

	10月8日	10月9日 (入院)	10月10日
体温	39.5	38.4	解熱
咳	—	—	—
鼻汁	+	+	+
下痢	—	—	—
白血球	15,600	13,400	
(Gran)	13,400	12,400	
%Gran	84.80%	92.50%	
CRP(mg/dl)	2.3	11.2	
	↑	↑	
	CTRX 50mg/kg	CTRX 50mg/kg	
	← AMPC 60mg/kg/day →		

入院時検査結果（山形県立中央病院小児科資料提供）

WBC	16,600
band	12%
Seg	59%
ESR	41/71
CRP	11.8
生化学	正常

症例4

4歳男児

既往歴 アレルギー性鼻炎(-)

11月6日 38°Cの発熱、咳(-)、鼻汁(+)、腹痛(+)、
嘔吐(-)、水様性下痢(+)

11月9日 解熱していたが、水様性下痢が続くため初診。
臨床診断：滲出性扁桃炎、感染性胃腸炎
(R/O二次性乳糖不耐症)

治療：滲出性扁桃炎・・・鎮痛解熱剤
感染性胃腸炎・・・整腸剤、ガランターゼ

検査：便培養 Sta.aureus
咽頭拭い液、便ウイルス分離せず
シークエンス法でSAFV Group 2

症例4の臨床経過

	11月6日	11月7日	11月8日	11月9日	11月10日	11月11日
体温	38	37.2	36.3	37	36.5	36.8
頭痛	—	—	—	—	—	—
咽頭痛	—	—	—	—	—	—
咳	—	—	—	—	—	—
鼻汁	+	+	+	—	—	—
腹痛	+	+	+	+	—	—
下痢	←	水	様	性	下痢	→ 軟便～普通便

↑
初診
便培養: St. aureus(+)
咽頭拭い液: SAFV group2(+)
便: SAFV group2(+)

症例5

16歳男児

- 既往歴 気管支喘息(+)、アレルギー性鼻炎(+)
- 11月27日 38,9°Cの発熱、咽頭痛(+)、頭痛を訴え初診
咳(-)、鼻汁(-)、下痢(-)
咽頭所見:正常
白血球増加、CRP軽度上昇→抗菌薬DIV,経口投
- 11月28日 解熱せず再診時37.6°C。
体全体の激しい痛み(+)
アセトアミノフェンに反応しない。ボルタレンに変
滲出性扁桃炎、水様性下痢(感染性胃腸炎?)
検査:咽頭拭い液、便ウイルス分離せず
シーケンス法でSAFV Group 2
- 11月29日 解熱
- 12月1日 胃腸炎治癒

症例5の臨床経過と検査結果

	11月27日	11月28日	11月29日	11月30日	12月1日
体温	39	38.6→36.8	36.6	36.5	36.5
咳・鼻汁	—	—	—	—	—
咽頭痛	2+	3+	1+	—	—
頭痛	3+	3+	1+	—	—
頸部痛	1+	1+	1+	—	—
水様性下痢	—	—→2+	2+	—	—

WBC	16600	17900	11800
Gran.	15300	15900	9600
%Gran.	92.20%	88.80%	81.40%
CRP(mg/dl)	1.1	7.8	5.9

参考11/28血液像

band	8.0%	T.Bil	0.89mg/dl
seg.	74.0	GOT	19U/L
bas.	1.0	GPT	11U/L
mono.	7.0	LDH	216U/L
lym.	10.0	CPK	70U/L

5症例のまとめ

	症例1	症例2	症例3	症例4	症例5
年齢	2歳	5歳	2歳	4歳	16歳
性別	女児	男児	女児	男児	男子
検体	吸引液	吸引液	拭い液	拭い液・便	拭い液
発症日	9月4日	9月6日	10月8日	11月6日	11月27日
最高体温(°C)	39.8°C	38.8°C	39.8°C	38°C	39.6°C
咳	—	—	—	—	—
鼻汁	—	+	+	—	—
頭痛	—	—	—	—	3+
下痢	—	—	—	3+	3+
臨床診断	扁桃炎	扁桃炎	扁桃炎	扁桃炎/胃腸炎	扁桃炎/胃腸炎
治療			抗菌薬		抗菌薬

考察

SAFVとは？

Picornaviridae cardiovascular virus の中のTheiler's murine encephalomyelitis virus (THEV)に類似した2007年Jonesらによって報告されたウイルス。

SAFVの報告

2007年 (Jones MS)

不明の発熱者の便からシーケンス法でヒトのcardiovirusであるウイルスを検出 (SAFV)

2008年 (Drexler JF)

胃腸炎を起こした児の便から検出

2008年 (Abed Y)

呼吸器症状を伴った児の鼻咽腔吸引液から検出

2009年 (Blinkova O)

非ポリオ性弛緩性麻痺の児の便と神経症状のない児の便から検出

2009年 (Lili Ren)

2007年11月に北京でアウトブレイクを報告し、ノロウイルスやロタウイルスとの同時検出が多いことから寒い時期に好発する可能性に言及した。

2009年 (Jan Zoll)

中和抗体を測定し2歳までに75%が陽性であり、ありふれたウイルス感染症であることを指摘。

2010年 (Itagaki T)

滲出性扁桃炎を起こした児より検出。

SAFVの臨床症状と検査所見の特徴

- 1) 最高体温 $39.2 \pm 0.70^{\circ}\text{C}$ 、
有熱期間 1.8 ± 0.08 日
- 2) 臨床診断 扁桃炎 5 / 5 胃腸炎 2 / 5
- 3) 抗菌薬投与にも反応しない白血球増多症
(顆粒球の増加)、CRPの高値
- 4) 再診率が低い可能性(有熱期間が短い)